

令和6年5月13日

特定非営利活動法人 科学技術情報フォーラム

会長 鈴木富則 **STIF**

<https://npostif.org/>

令和6年STIFワークショップ「環境と安全に関するリテラシー醸成のために」

主催：NPO科学技術情報フォーラム（STIF）

日時：令和6年5月24日（金）～25日（土）

会場：スパリゾートハワイアンズ（福島県いわき市）会議室 <https://www.hawaiians.co.jp/>

開催概要

「私たちの豊かな生活の維持と発展に必要不可欠な、環境、安全等に関する科学技術情報を調査・研究し、同分野で活躍する人材を育成することにより、社会の環境・安全等に関する理解促進を図る（定款第3条より）」ためには、さまざまな観点での最適化アプローチが重要な軸となります。

本ワークショップは毎年5月末に開催していますが、令和6年開催の今回は、自然科学及び社会科学の視点に重点を置き、環境と安全に関するリテラシー醸成に関する4つの講演を基に会員間の議論を通じて関連の理解を深めていきます。

<初日>

- 14時00分 開会挨拶 及び 趣旨説明 鈴木富則（理事長）・飯本武志（理事）
- 14時15分 講演Ⅰ 東京大学 教授・博士（工学） 飯本武志
「国際原子力機関（IAEA）が目指す原子力科学技術（NST）教育展開の動向」
- 15時30分 講演Ⅱ 日本原子力研究開発機構 技術技能職・博士（環境学）五十嵐悠
「自然起源放射性物質のトランスサイエンス問題に着眼したリスク教育法の開発
—スリランカ・タイにおける調査研究成果報告—」
- 16時45分 NPO 科学技術情報フォーラム 第21回 会員総会

<2日目>

- 9時00分 講演Ⅲ エネルギー広報企画舎 代表取締役 高木利恵子
「原子力科学技術教育の実践に基づくリスクリテラシー醸成モデルの開発」
- 10時15分 講演Ⅳ 有限会社ラド 技術専門員 戸田武宏
「文部科学省教育指導要領の理念に基づく霧箱放射線教育の新たな展開」
- 11時30分 閉会挨拶 副島忠邦（事務局）

以上